



# 国民春闘共闘

第5号

2018年12月3日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2018年第3回年末一時金集計

## 支給日を前に追い上げすすむ 加重平均71万

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は11月30日、2018年の年末一時金第3回集計を行い23単産部会から報告が寄せられました。

### <回答状況>

	2018年	2017年同期	2016年同期
登録組合数	730	730	746
回答組合数	404 (55.3%)	421 (57.7%)	400 (53.6%)
うち上積み獲得	76 (18.8%)	67 (15.9%)	57 (14.3%)
うち妥結組合数	141 (34.9%)	177 (42.0%)	146 (36.5%)

### <回答内容>（月数および金額）

集計方法&対象		2018年	2017年同期	（前年比）
単純平均	月数	2.13	2.10	±0.03
	額（円）	704,650	661,088	+43,562
加重平均	額（円）	710,908	681,476	+29,432
	組合員数（人）	212,533	114,260	

\*額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

### <前年実績と比較可能な組合における回答状況>（金額での比較）

	2018年	2017年同期	2016年同期
前年との比較が可能な組合数	205	215	181
うち前年額以上の組合	120 (58.5)	128 (59.5%)	100 (45.6%)
（前年超）	107	115	85
（同 額）	13	13	15

### <前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較>

		組合数	金額・月数	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	205	704,282	695,900	8,382
	月数	344	2.14	2.11	0.03

## 〈集計結果の概要〉

### 回答引出し・妥結状況

2018年度の年末一時金の第3回集計には、23単産・部会から報告が寄せられ、登録730組合のうち404組合が回答を引き出しています。回答引き出し率は55.3%となっています。回答引き出し組合のうち上積み回答を引き出したのは76組合・18.8%となっています。建設関連労連、検数労連の3組合で5次回答を引き出しているのをはじめ、3次回答以上の引き出しの組合が17組合となっています。現時点で妥結した組合は141組合、妥結率は34.9%となっています。

### 全体の回答内容

月数回答のあった385組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は2.13ヵ月で、前年同期（2017年12月1日時点）2.10ヵ月を0.03ヶ月上回っています。また、金額回答のあった232組合での単純平均額は704,650円で、前年同期（661,088円）を43,562円上回っています。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は710,908円で前年同期（681,476円）から29,432円増となっています。3か月以上の回答を引き出している組合は50組合となっています。中でも、建設関連労連（2組合）、JMITU（2組合）民放労連（4組合）、出版労連（6組合）、地方マスコミ（1組合）の15組合で3.5ヶ月以上となっています。

また額では、出版労連（5組合）が200万以上の回答を引き出したのをはじめ、地方マスコミ、建設関連、JMITU、化学一般労連、金融労連、全印総連、民放労連の計30組合が100万円以上の高額回答を引き出しています。

製造業、運輸・通信、マスコミ関係などで、業績好調を背景に、回答状況も好調となっています。しかし一方で、要求水準と比較では満額回答を引き出した組合もあるものの、全体としては要求水準には到達していません。

### 前年実績比較可能な組合での回答状況

同一組合での対比が可能な205組合での単純平均額の結果を前年実績と比べると704,282円で、前年実績8,382円増となっています。205組合のうち前年実績額以上の回答を勝ち取っている組合は120組合（58.5%）となっており、例年と同様の状況となっています。また、月数で同一組合対比可能な344組合の単純平均月数は2.14ヵ月で、前年実績を0.03ヶ月上回っています。

### パートなど非正規の仲間の一時金

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、別表の5単産140組合から175件の獲得報告が寄せられています。このうち、パートやアルバイトなどを中心とした時給制労働者の一時金獲得は、生協労連（11件）、日本医労連（58件）、をはじめ、JMITU、全印総連、映演労連の計175件となっています。月数報告のあった130組合の単純平均は0.720ヶ月、金額報告のあった87組合の単純平均は49,695円となっています。前年比較可能な組合でみると、月数、金額とも前年を若干下回る結果となっています。人手不足の下、募集時給引き上げのため一時金を引き下げ、総額人件費を抑制する回答が全体の水準を押しとどめる要因となっています。

月給制労働者では、生協労連で 56 件、JMITU、全印総連、映演労連（各 1 件）の獲得となり、月数の単純平均で 1.222 ヶ月、金額で 222,665 円となっています。

時給制・月給制の継続雇用者では、JMITU、生協労連、全印総連で回答引き出しが進んでいます。

## ＜参考＞他団体の年末一時金集計結果

### ●連合の回答集計（第 1 回最終・11/5）

金額（円）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万人）	金額	昨年実績	金額	昨年実績
784	74.8	717,433	687,124	562,736	594,089

月数（ヶ月）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万人）	月数	昨年実績	月数	昨年実績
1,377 組合	126.6	2.41	2.27	2.18	2.16

### ●日本経団連の年末一時金妥結集計：（大手企業・第 1 回 11/16 現在）

調査対象	集計企業数	加重平均		単純平均	
		金額	昨年実績	金額	昨年実績
大手企業	75 社	956,013	924,438	813,100	812,617

※調査対象は、原則として東証一部上場、従業員 500 人以上、主要 21 業種大手 251 社

**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8 時間働いて人間らしく暮らせる社会  
とめよう 安倍 9 条改憲、消費税増税  
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**